

神戸大学大学院国際文化学研究科
令和7年度（2025年度）博士課程前期課程入学試験 試験問題

科目名	ページ
英語	1-3
日本語	4-6
情報	7-10

注意事項

著作権に対する配慮のため問題文を省略している場合があります。

令和7年度(2025年度)神戸大学大学院国際文化学研究科

博士課程前期課程入学試験

基礎科目 試験問題 外国語(英語)

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票、筆記用具(※筆箱等から出すこと)、時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは不可。)、メガネ、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー(袋または箱から中身だけ取り出したもの)、「持ち込みが認められた辞書」のみです。
3. 携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチやスマートグラス等のウェアラブル端末等の電子機器類は使用できません。電源を切ってかばんに入れておいてください。アラームの設定を解除していない場合、電源を切っていても鳴ることがありますので、必ずアラームの設定を解除しておいてください。
イヤホンは耳から外し、かばんに入れておいてください。
また、腕時計は机の上に置き、腕には何も身につけないでください。
4. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
5. 試験中に質問等があれば、手を挙げて監督者に申し出てください。
6. 試験開始後30分間は退室できません。
7. 試験開始30分経過後は退室することができます。退出する場合には、解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
8. 基礎科目については、出願時に選択した問題以外の問題を解答しても無効になります。
9. 解答用紙を何枚使用してよいかは、問題ごとに指定されていますので、解答する前に必ず確認してください。
解答用紙が指定された枚数より多く綴じられている場合がありますが、指定された枚数を使用して解答してください。
10. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお、解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
11. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和7年度(2025年度)神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
基礎科目 試験問題 外国語(英語)

(注)問題用紙 6枚、解答用紙 2枚、下書き用紙 1枚
問題 I,II の解答は、それぞれ指定された解答用紙に記入すること

問題 I 以下の英文を読み、問 1～問 4 に日本語で答えなさい。

(問題文省略)

出典: Thora Tenbrink (2020), *Cognitive Discourse Analysis: An Introduction*,
Cambridge University Press, pp. 8-10. (一部改変)

問 1 下線部 (1) の意味する内容について、*embodied*の本文中における意味を明らかにしながら日本語で説明しなさい。

問 2 下線部 (2) について、It と magic の内容を明らかにしながら日本語で説明しなさい。

問 3 下線部 (3) について、this kind の内容を明らかにしながら日本語で説明しなさい。

問 4 下線部 (4) はどういうことか。本文中に引用されている Tversky and Lee (1999) と Denis (1997)を踏まえて、日本語で説明しなさい。

問題 II 以下の英文を読み、問 1～問 3 に日本語で答えなさい。

(問題文省略)

出典: James C. Scott (2012), *Two Cheers for Anarchism: Six Easy Pieces on Autonomy, Dignity, and Meaningful Work and Play*, Princeton University Press, pp. 76-80.
(一部改変)

問 1 下線部 (1) の具体的な内容として著者が指摘しようとしている 2 つの事柄を、第 2 段落と第 3 段落の内容に即して、それぞれ 120 字程度の日本語で説明しなさい。

問 2 下線部 (2) で言う “institutional neurosis” (制度的神経症) の具体的な症状とはどのようなものか、本文の内容に即して 120 字程度の日本語で説明しなさい。

問 3 下線部 (3) の問い合わせについて著者はどのように論じているか。第 5 段落の論旨を踏まえて 200 字程度の日本語で説明しなさい。

令和7年度(2025年度)神戸大学大学院国際文化学研究科

博士課程前期課程入学試験

基礎科目 試験問題 日本語

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票、筆記用具(※筆箱等から出すこと)、時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは不可。)、メガネ、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー(袋または箱から中身だけ取り出したもの)、「持ち込みが認められた辞書」のみです。
3. 携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチやスマートグラス等のウェアラブル端末等の電子機器類は使用できません。電源を切ってかばんに入れておいてください。アラームの設定を解除していない場合、電源を切っていても鳴ることがありますので、必ずアラームの設定を解除しておいてください。
イヤホンは耳から外し、かばんに入れておいてください。
また、腕時計は机の上に置き、腕には何も身につけないでください。
4. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
5. 試験中に質問等があれば、手を挙げて監督者に申し出てください。
6. 試験開始後30分間は退室できません。
7. 試験開始30分経過後は退室することができます。退出する場合には、解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
8. 基礎科目については、出願時に選択した問題以外の問題を解答しても無効になります。
9. 解答用紙を何枚使用してよいかは、問題ごとに指定されていますので、解答する前に必ず確認してください。
解答用紙が指定された枚数より多く綴じられている場合がありますが、指定された枚数を使用して解答してください。
10. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお、解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
11. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和7年度(2025年度)神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
基礎科目 試験問題 日本語

(注)問題用紙 4枚、解答用紙 2枚、下書き用紙 1枚

問題 I、II の解答は、それぞれ指定された解答用紙に、日本語で記入すること

問題 I 次の文章を読んで、あとの問 1～問3に答えなさい。

(問題文省略)

出典:松本健太郎「メディアの歴史と文化」、遠藤英樹・松本健太郎・江藤茂博編著『メディア文化論』ナカニシヤ出版、2013 年、82-85 頁。(一部改変)

問1 下線部(1)「そのような限界」とあるが、どういうことか。100 字以内で説明しなさい。

問2 下線部(2)「翼をもったことば」とあるが、どういうことか。100 字以内で説明しなさい。

問3 下線部(3)「文字は情報の運用を効率化し、人間の思考を複雑化する要因となった」とあるが、どういうことか。本文全体の論旨をふまえたうえで、200 字以内で説明しなさい。

問題Ⅱ 次の文章を読んで、あとの問 1～問3に答えなさい。

(問題文省略)

出典:宮島喬『多文化共生の社会への条件——日本とヨーロッパ、移民政策を問い合わせなおす』東京大学出版会、2021年、23-25頁。(一部改変)

問1 下線部(1)「その意味について議論を要する特徴」とはどのような特徴か。「その意味について議論を要する」点を明らかにしながら100字以内で説明しなさい。

問2 下線部(2)「1980年代にフォーカスすると、日本の産業構造の推移は、脱工業化の方向を一段と明確にし」とあるが、このことは移民の受入れにどのような変化をもたらしたか。本文の内容に即して100字以内で説明しなさい。

問3 下線部(3)「結婚移動の人の流れ」とあるが、その背景にあるのはどのような事情か。本文に挙げられている日本の事例に即して、100字以内で説明しなさい。

令和7年度(2025年度)神戸大学大学院国際文化学研究科

博士課程前期課程入学試験

基礎科目 試験問題 情報

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票、筆記用具(※筆箱等から出すこと)、時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは不可。)、メガネ、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー(袋または箱から中身だけ取り出したもの)、「持ち込みが認められた辞書」のみです。
3. 携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチやスマートグラス等のウェアラブル端末等の電子機器類は使用できません。電源を切ってかばんに入れておいてください。アラームの設定を解除していない場合、電源を切っていても鳴ることがありますので、必ずアラームの設定を解除しておいてください。
イヤホンは耳から外し、かばんに入れておいてください。
また、腕時計は机の上に置き、腕には何も身につけないでください。
4. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
5. 試験中に質問等があれば、手を挙げて監督者に申し出てください。
6. 試験開始後30分間は退室できません。
7. 試験開始30分経過後は退室することができます。退出する場合には、解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
8. 基礎科目については、出願時に選択した問題以外の問題を解答しても無効になります。
9. 解答用紙を何枚使用してよいかは、問題ごとに指定されていますので、解答する前に必ず確認してください。
解答用紙が指定された枚数より多く綴じられている場合がありますが、指定された枚数を使用して解答してください。
10. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお、解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
11. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和7年度(2025年度)神戸大学大学院国際文化学研究科

博士課程前期課程入学試験

基礎科目 試験問題 情報

(注) 問題用紙3枚、解答用紙2枚、下書き用紙1枚

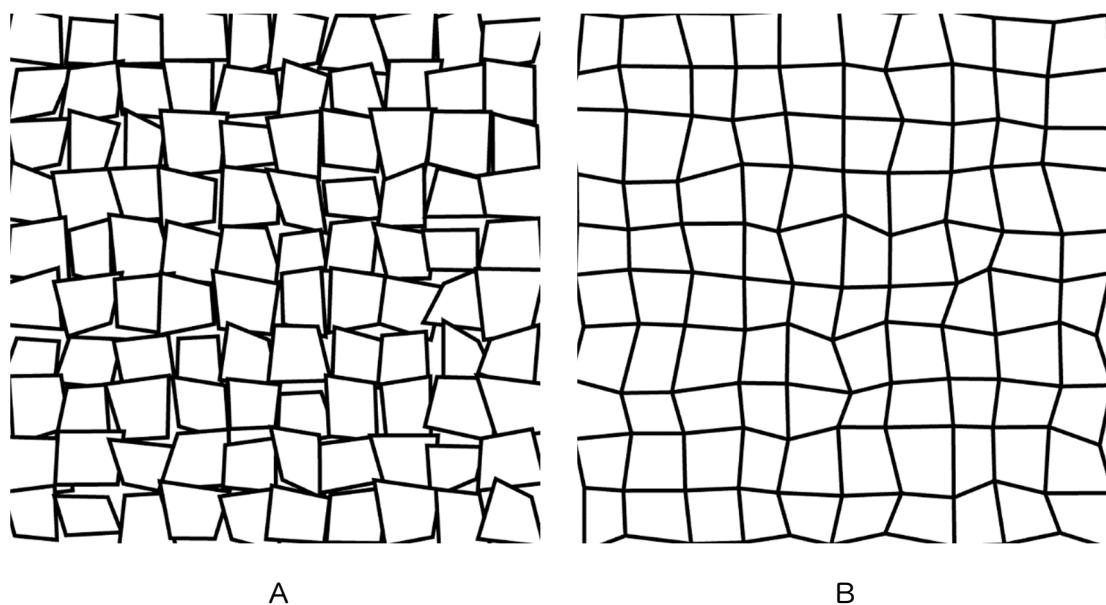
問題I、IIの解答は、それぞれ指定された解答用紙に、日本語または英語で記入すること

問題I 以下の用語 (ア)～(コ)について簡潔に説明しなさい。

- (ア) GPT-4o
- (イ) 通信プロトコル
- (ウ) GitHub
- (エ) Python
- (オ) マルチコアプロセッサ
- (カ) DBMS
- (キ) ファイルシステム
- (ク) 標準偏差
- (ケ) Web アプリケーション
- (コ) VPN

問題Ⅱ 問1～3のそれぞれに、プログラムによって出力されることを想定したAとBの2つの図を示す。Aに対応するプログラムとBに対応するプログラムのうち、いずれのプログラムを作成する方がより難しいと考えられるか。解答用紙の選択肢から選び、そのように考えた理由を説明しなさい。

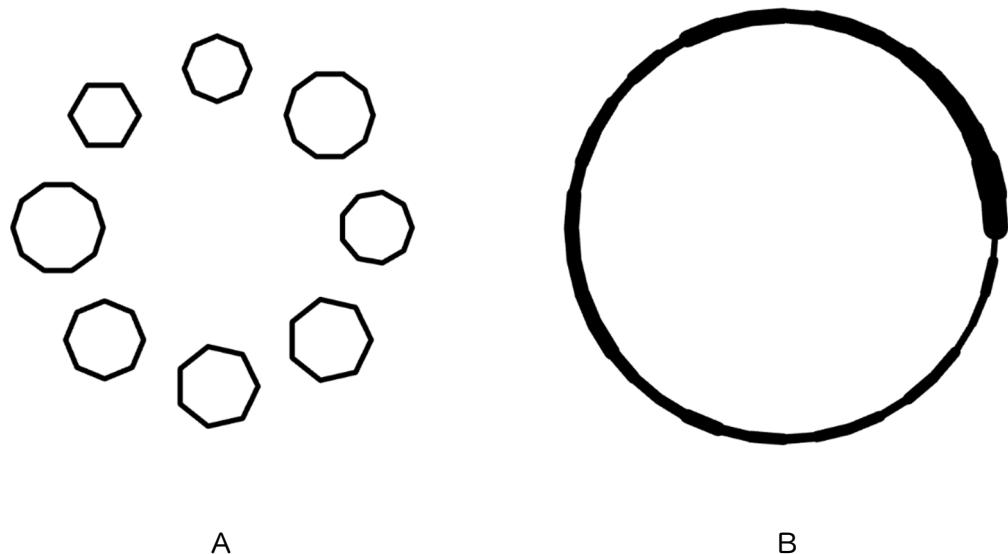
問1



A

B

問2



A

B

問3

 <p>神戸太郎 10:15 AM @国際花子 ゼミの準備できた？</p>  <p>国際花子 10:16 AM ばっちりです。資料共有しますね。</p>  <p>神戸太郎 10:17 AM お願いします！</p>  <p>国際花子 10:18 AM ゼミのドライブに置きました。</p>	<ul style="list-style-type: none"><input type="radio"/> プログラミングの課題 ★ 授業 6月14日(金)<input type="radio"/> 実験データを整理する ☆ 研究<input type="radio"/> ゼミの発表資料をまとめる ☆ 研究<input type="radio"/> 食料品の買い出し ☆ 生活<input checked="" type="radio"/> 部屋の掃除 ☆ 生活
---	--

A

B